

1 学校教育目標
互いに認め合い・伝え合い、つながる学校にしよう

2 学校経営ビジョン
<p>【めざす学校像】 ○「基本」を大切にす学校 ○「生きる喜び」を実感する学校 ○「ありがとう」の学校 ○「風通し」のいい学校</p> <p>【めざす児童像】 『正しく・明るく・元気よく』 ○花のように美しく 思いやりのある子 ○小鳥のように仲良く 助け合う子 ○風のように力強く がんばる子 ○太陽のように明るく 健康な子 ○水のように清く ひびきあう子</p> <p>【教師像】 ○健康で明るく、誠実で、謙虚な教師 ○教育公務員としての自覚と使命感を持ち、情熱を燃やす教師 ○教育専門職として意欲的に研修に努め、児童の能力を伸ばす教師</p>

3 本年度の重点目標	4 前年度の成果と課題
<p>① 保護者や地域社会の期待や要請に応えるため、教育公務員の理念に基づき、全職員の創意を生かした教育活動を展開する。</p> <p>② 職員がチームの一員として学校経営への参画意識を持ち、学級経営や各部経営の活性化を図り、教育活動を推進する。</p> <p>③ 校内研究・研修を中心として、互いに切磋琢磨しながら、子どもたちの居心地のいい学級づくりに邁進する。</p> <p>④ 子どもたち一人一人の存在と居場所を保証しながら、個に応じた指導・支援を展開し、教育活動を推進する。</p> <p>⑤ 他者との協力や協働の場を工夫し、関わる喜びや感謝の心が育つ教育活動を推進する。</p>	<p>【成果】 構成的グループエンカウンターを取り入れたよりよい人間関係づくりの授業実践で、子どもたちの姿が変わってきた。同時に、学力向上面での課題に対しても、指導方法改善担当を中心に取り組み、成果を上げることができた。さらには、特別支援教育や教育相談、問題行動等に対して、情報を共有しながら組織的な対応を展開することができた。</p> <p>【課題】学習習慣の確立について、全校で共通指導項目を設けて取り組んだが、子どもたちへの浸透が不十分であった。子どもたちの学ぶ意欲を喚起し、思考力や判断力を引き出す学習活動を創意工夫して、さらなる学力向上をめざす必要がある。また、新学習指導要領への対応として、学校行事や週時程等の見直し、各カリキュラムの作成を行う必要がある。</p>

●…県の共通項目 ○…市の共通項目

5 総括表				
① 保護者や地域社会の期待や要請に応えるため、教育公務員の理念に基づき、全職員の創意を生かした教育活動を展開する。				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	学校経営方針	学校教育目標、本年度の重点目標の周知	・教職員、児童、保護者に周知し、認知度を80%以上にする。	・多様な機会(職員会議、集会、保護者会、学校便り等)を利用し、周知する。
学校運営	開かれた学校づくり	学校情報の公開	・学校便り、HP等による学校情報の公開と内容の充実を図る。各種行事等への保護者の参加率を昨年度より高め、情報交換を行う。	・毎月、定期的に学校便りを発行し、計画的にHPを更新する。案内状を早期に配布し、保護者の予定が立てやすいように配慮する。
特定課題	異校種間連携	○幼保小連携の推進	・幼保小の交流を行い、相互理解に努める。	・夏季休業中に職員の保育体験を実施する。 ・年2回以上の情報交換会を実施する。
		○小中連携の推進	・小中の授業交流を行い、相互理解に努める。	・交流授業を小中の学校で年1回以上実施する。
② 職員がチームの一員として学校経営への参画意識を持ち、学級経営や各部経営の活性化を図り、教育活動を推進する。				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	危機管理	危機管理体制の改善・充実	・危機管理マニュアルに基づく行動パターンを周知し、教職員・児童がシミュレーションできるようにする。	・危機管理マニュアルに沿った訓練を実施し、的確な行動を励行する。
教育活動	●健康・体づくり	●食育等を通じた健康・体づくり	・給食指導の充実のための食育教材を作成する。	・日常生活の問題等を中心として食育教材を開発し、積極的に実践する。
		体力の保持・増進 (○性教育の推進)	・体力向上のための計画的な場づくりを工夫する。 ・自分の体や心を大切に子どもを育成する。	・水泳、マラソン、縄跳び週間等の期間を設定して、積極的に取り組ませる。 ・性教育年間指導計画に基づき、担任と養護教諭との連携を図り、性教育の授業充実を図る。
特定課題	●低学年の学習環境の改善・充実	学習・生活習慣の定着	・基本的な学習・生活習慣を身に付けさせる。 ・はじめのある生活態度を身に付けさせる。	・「大坪のきまり」を活用し、始業前に次時の学習用具を揃えさせる。発表の仕方、話の聞き方を身に付けさせる。 ・身の回りを整えさせる。

③ 校内研究・研修を中心として、互いに切磋琢磨しながら、子どもたちの居心地のいい学級づくりに邁進する。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	教職員の資質の向上	授業実践の向上	・特別活動を中心により良い人間関係を育む授業づくりの力量を高める。 ・指導技術と資質向上につながる研修内容の工夫と実施に努める。	・全員参加の授業公開と協議を活性化させる。 ・年間計画に基づき、計画的な研修を実施する。
教育活動	●学力向上	基礎学力の向上 (○活用力の向上、○言語活動の充実)	・国語・算数の基礎的な学力を向上させる。 ・学習指導要領や教材に関する研究を積極的に行い、活用力向上と言語活動の充実を目指した授業を展開する。	・「学習のきまり」を活用し、学習習慣の確立を目指す。 ・プリントを開発し、小テストを計画的に実施する。 ・研修会等で、「活用力」や「言語活動」に関する指導方法の検討を行い、授業実践に生かす。

④ 子どもたち一人一人の存在と居場所を保証しながら、個に応じた指導・支援を展開し、教育活動を推進する。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●心の教育	道徳教育の充実(○心の教育3セットの活用)	・いのちの教育指導資料の積極的な活用を図る。	・いのちの教育指導資料活用を含めたカリキュラムづくりと具体的な授業展開を充実させる。
		○人権・同和教育の充実	・授業内容の充実を図り、人権感覚の育成、情報モラルの向上を図る。	・日常生活の問題等から、教材を開発・工夫し、授業実践を行う。
		○いじめ・不登校の未然防止	・いじめ防止、不登校傾向、問題を抱える子への組織的な支援の充実を図る。	・カウンセラーの効果的な活用など、教育相談機能の充実を図る。 ・保護者、担任、生徒指導主任、教育相談担当などの連携を密にし、組織としての支援を充実させる。
教育活動	特別支援教育	特別支援教育の推進	・児童の実態に即した具体的な支援の内容・在り方を探る。	・ケース会議によって、児童の実態を把握する。 ・学校全体の支援体制を整備する。 ・校内支援委員会の定例開催により、児童の現状を確認し、支援の方法を考え実践する。

⑤ 他者との協力や協働の場を工夫し、関わる喜びや感謝の心が育つ教育活動を推進する。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	ふるさと学習	地域のひと・こと・ものに学ぶ学習活動の推進	・地域人材を活用し、名産・歴史・文化を学ぶ学習活動を展開する。	・総合的な学習の時間等に積極的に地域講師を招いて「ふるさと学習」を展開する。 ・「はちがめプラン」へ積極的に参加する。
教育活動	鼓笛隊・校歌等	鼓笛隊・校歌等の取組の充実	・誇りを持って鼓笛隊の練習に参加する児童を育成する。 ・日本一の校歌を歌い、童謡に親しむ学校をめざす。	・「心を一つにして」を合い言葉に練習に取り組みさせる。 ・明るく伸びやかに校歌を歌うことができるようにする。童謡・唱歌を歌わせ、曲に親しませる。

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	外国語活動	外国語活動の推進	・高学年の外国語活動における授業展開や教材教具を工夫し、児童が生き生きと活動する授業づくりに努める。 ・ALTとの効果的な連携による授業づくりに努める。	・年間カリキュラムを作成し、ワークシートや視聴覚機器を生かした授業を実践する。 ・ALTとのTT授業展開を工夫する。
教育活動	ICT利活用教育	ICT利活用による授業づくりの推進	・パソコン等の機器を活用した授業力の向上に努める。 ・パソコン室での授業を計画的に実施する。	・講師を招いて、ICT利活用授業について研修を行う。 ・パソコン室の割り当てを明確にし、児童が定期的にパソコンに触れ、活動する時間を設定する。
特定課題	家庭教育力の向上	○読書活動の充実(家読)	・「早寝・早起き・朝ご飯」運動やノーテレビデーの設定、伊万里っ子しぐさの活用などと関連させて、家読の推進に努める。	・保護者・育友会に対して、家読に関して積極的なよびかけ、啓発に努める。 ・図書館まつりなどにおいて、重点的に「家読」に取り組みさせる。